# 行政基本情報データ連携モデル 電話番号

* 標準ガイドライン群 ID：1015-5
* 2019-03-28
* https://cio.go.jp/sites/default/files/uploads/documents/1015-5\_gyousei\_data\_model\_phone.pdf
* https://cio.go.jp/sites/default/files/uploads/documents/1015-5\_gyousei\_data\_model\_phone.docx

電話番号のデータは、[ITU-T E.123](用語.md#itu-t-e123) : Notation for national and international telephone numbers, e-mail addresses and web addresses 及び [IETF RFC3966](用語.md#ietf-rfc3966) The tel URI for Telephone Numbers 並びに国内の普及状況を考慮して整理する。

## １. 電話番号

電話番号のデータは以下の形式とする。半角数字で記述し、セパレータには半角ハイフン「-」を利用する。

国際電話用に表現する場合には、「+」の後に国番号、半角スペース後に国内番号の先頭の 0 を除いた番号とする。国番号は [ITU-T E.123](用語.md#itu-t-e123) に従う。

市内局番を（）で表現することがあるが、[E.123](用語.md#itu-t-e123) において、（）は「場合によって使用しない。」ことを意味する記号であるため、市外局番に対して適用する。

* 国内 (09)9999-9999 、 (099)999-9999 、 099999-9999 、または (09999)9-9999 フリーダイヤルの場合 0120-999999
* 国際 +国番号 (9)9999-9999 （国内番号が 2 桁 4 桁 4 桁の場合）
* 例） +81 (3)5253-5111
  + 代表電話番号を表したい場合、電話番号と同じセル内で、電話番号の後ろに（代表）等の追記を行わない。
  + データ項目名を「代表電話番号」「連絡先電話番号」として明確化するか、「電話番号」「部署」のように 2 つのデータ項目とする。
* 例） (03)5353-5111
  + 代表電話

## 2. 内線

電話番号と別データ項目で管理することが望ましい。半角数字のデータとする。

電話番号と同じ 1 つのデータ項目で記述する場合には、国際標準に従い以下のとおりとする。内線と番号の間にスペースは入れない。

* 国内 (09)9999-9999 内線 999 （内線の桁数は自由）
* 国際 +国番号(9)9999-9999 Ext.999 （内線の桁数は自由） （国内番号が 2 桁 4 桁 4 桁の場合）

## 3. 複数番号の併記

複数番号を併記する場合、半角“スペース/スペース”により区切ることにより併記する。

* (09)9999-9999 / (09)9999-9998

内線も同様とする。

* 内線 999 / 998 / ・・・ / xxx
* Ext. 999 / 998 / ・・・ / xxx

## 4. 解説

### 4.1. 基本方針

[ITU-T E.123](用語.md#itu-t-e123) : Notation for national and international telephone numbers, e-mail addresses and web addresses 及び [IETF RFC3966](用語.md#ietf-rfc3966) The tel URI for Telephone Numbers 並びに国内の普及状況を考慮して決定する。

### 4.2. セパレータ

以下の理由により電話番号の区切りに半角ハイフンを指定する。 - 市外局番の桁数に様々な場合があることから、数字の区切りは必要である。 - [ITU-T E.123](用語.md#itu-t-e123) は、番号の視認性を高めるための仕組みとして番号の区切りにスペースを指定している。一方で、[IETF RFC3966](用語.md#ietf-rfc3966) は [E.123](用語.md#itu-t-e123) を認識したうえで、スペースを使うべきではないとしている。スペースは意見が相反しているうえ国内で普及していない。 - [E.123](用語.md#itu-t-e123) は、世界の状況を踏まえ「-」の使用を認めている。また、[IETF](用語.md#ietf-rfc3966) もセパレータの必要性を認めている。 - 国内ではハイフンが主流である。

### 4.3. 内線

内線については以下の理由により、データ項目を分離することを推奨する。 - 国内で内線の書き方は統一されたものがない。 - 国外でも内線番号記述は統一されていない。 - データ処理が容易である。

また、1 つのデータ項目に内線を記述する場合、[E.123](用語.md#itu-t-e123) に従い、国内で内線を番号表す単語“内線”の後ろに内線番号を記述する方式をとる。国際の場合には“Extension”では長いため、Ext.を使うこととする。